

みなさんこんにちは！

ボリビアのデル・バリーエ大学に留学中の GCP4 期、船戸明美です。南米の最貧国と呼ばれているボリビアですが、自然豊かで快適な、標高 2,600m の町に位置するデル・バリーエ大学での留學生活の様子をお届けします！



留學中の生活について

留學中はホームステイで大学関係者の家族の家に滞在をさせてもらえます。食事はボリビアンスタイルで、朝と夜はパンとコーヒー、お昼はしっかりとした食事をします。大学の授業以外の時間は課題をしたり、スペイン語の勉強をしたり、友人とカフェで会話をしたりと基本的に自由です。観光学部では1 Semester 内に 2,3 回ほど国内旅行が企画され、留學生も参加ができます。

留學先の勉強について

基本的に、授業はすべてスペイン語で行われます。そのため留學中はスペイン語の勉強と履修している授業の勉強を同時並行的にしているような状況です。デル・バリーエ大学の交換留學の特徴としては、医学部を除きますが、所属学部以外の学部の授業を履修することが可能です。私は社会・経営学部にも所属しながら観光学部の授業も履修しています。

デル・バリーエ大学(Universidad del Valle)は 1988 年にゴンザロ・ルイス・マルティネス氏によってボリビア中部のコチャバンバという町に設立された私立大学です。ボリビアには9つの県がありますが、2015 年9月現在、デル・バリーエ大学のキャンパスはそのうちの 4 つの県に存在しています。“バリーエ”はスペイン語で『谷』を意味しますが、その名の通り大学の本キャンパスは緩やかな谷の斜面にあります。11,000 人ほどの學生が在籍していますが、そのうちの1割は隣国のブラジルからくる學生です。学部は建築学、観光学、医学、社会・経営科学、コンピューター・エレクトロニクス、テクノロジー、法学部と多岐に渡り、日本の4年制大学と専門学校の学部が混在しているようなユニークな大学です。



イベントについて

ボリビアには『學生の日』があり、この日は小学生から大学生までのすべての學生が、学校や大学で行われるお祭りのような行事に参加します。

留學にあわせて挑戦していること

留學中はスペイン語の習得とボリビアへの理解の深化が目標となっています。スペイン語は帰国時までにビジネスレベル程度は使いこなせるように勉強しています。また、ボリビアに関するあらゆる質問に答えられるプロフェッショナル・オブ・ボリビアを目指して、ボリビアの歴史や政治に関して政治学者の方に定期的にお話を伺い、学校教育の現状を知るために郊外の小学校を視察し、地理や観光の情報を得るために旅行企画会社でインターンシップをするなどしています。



↑南米のスイスと謳われた町コチャバンバの様子。山に囲まれて空気も澄んでいます。

デル・バリーエ大学での留學生活を始めて7カ月が過ぎ、残り 4 カ月となりました。後悔のない留學にするためにも、留學開始時に立てた目標に向かってさらに楽しみつつ真剣に、勉強やその他の活動に取り組んでいきたいと思います！